



みかん

開花期を 迎えます



果樹林産センター
杉本 悠太郎

5月は開花期になります。今月の管理が、本年や次年度収量、品質、外観の大半を決定付けます。園内をよく観察し着花量に応じた管理を行いましょう。

着花管理

管内の平成30年産のミカンについては順序で言えば裏年となりますが、29年産が少なかつたこともあり、表年傾向の園地や樹も少なくありません。「樹の着花状態に応じた管理」を徹底しましょう。

着花程度に応じた管理表

着花量	全摘蕾全摘葉	有葉花摘蕾	芽かき・摘芯
甚多(ベタ花)	◎	○	—
多(バラツキ4)	○	◎	—
中(バラツキ3)	—	○	○
少(バラツキ1~2)	—	—	◎

◎最重要 ○重要 —必要なし

《着花の多い樹》

有葉花摘蕾する有葉花がないほどのベタ花樹では、蕾が見える時期に前年の夏秋梢を全摘蕾全摘葉処理することで、処理枝に発育枝が発生し結果母枝となります。また、有葉花摘蕾の目安は長さ5センチ以上または、新葉5枚以上の有葉花です。

《着花の少ない樹》

花の近くの新梢を芽かきや摘芯してください。早期に新梢を緑化させることで生理落果を抑制し、着果確保に努めましょう。隔年結果を是正するために、まずは着花が多い樹の管理を優先してください。

《葉面散布》

新葉は旧葉に比べ光合成能力が高いため、新葉を早期に緑化させることで、着花の多い樹は樹勢維持・回復に、少ない樹は生理落果軽減につながります。尿素500倍などを5

〜7日置きに3回程散布しましょう。

病害虫防除

灰色カビ病は、落弁期の降雨などにより花弁が幼果に付着することで発病し、果実にキズがつきます。防除時期は、五分咲き期と落弁期の2回となりますが、花弁ふるいなど耕種的防除に加え、天候を見て防除時期や回数を見極めましょう。

また、4月中旬時点でカメムシの越冬量が多く、県病害虫防除所より注意報が出るそうです。自園をよく観察し、防除を行ってください。

・五分咲き期 灰色カビ病 フロンサイドSC 2500倍(30日1回)

訪花昆虫 モスピランSL液剤 3000倍(14日1回)

・落弁期 灰色カビ病 ナリアWDG 2000倍(30日1回)